

国産チキンの安全・健やか宣言



宣言日（更新日）	2025 年 11 月 4 日
事業者名	株式会社ヤマニファーム
所在地	高知県幡多郡大月町姫ノ井 1849 番地 2
飼養羽数	年間約 150 万羽
処理数	—

理 念

私たちヤマニファームは、
スマート畜産と循環型農業を通じて、
地域と共に持続可能な未来を育みます。
技術と愛情で鶏と向き合い、
高知・大月町から安心でおいしい恵みを届け続けます。

衛生管理の取組の方針

◎ 鶏舎環境・施設の設備による病原性微生物の侵入・まん延防止

✓ 鶏舎環境・設備の管理

私たちは、鶏舎内への病原性微生物の侵入およびまん延を防止するため、鶏舎設備の維持管理を徹底しています。

防鳥ネットについては、耐久性の低下による破損を防ぐため、すべての鶏舎で規格内の 2cm 亀甲編み金網に変更済みです。これにより、野鳥等の侵入リスクを低減しています。

また、鶏舎ごとに専用の長靴を使用し、作業着は日齢群ごとに交換しています。使用後の長靴はすべてケースに入れて保管し、他の鶏舎への持ち込みを防止しています。さらに、踏み込み槽は毎日新しいものに交換し、消毒効果を確実に保つよう管理しています。鶏舎に入る際は必ず次亜塩素酸水による靴底消毒を実施し、また、鶏が飲む水についても給水設備に入る前の段階で消毒処理を行っています。

石灰の散布については、10 月から翌年 5 月の期間中、雨が降るたびにサンプルを確認し、効果を維持できるよう随時補充・散布を行っています。

また、消毒効果を高めるため、逆性石鹼およびグルタールを有効成分とする畜産用

消毒剤を併用しています。

さらに、カンピロバクターの予防対策として、10 ミクロンの微粒パウダータイプの畜産農場用バイオセキュリティ資材（FNP パウダー）を用いた消毒も実施しており、鶏舎周辺および出入口での衛生レベル向上に努めています。

これらの取り組みにより、外部からの微生物侵入リスクを最小限に抑え、安全で衛生的な飼育環境の維持に努めています。

こだわりの取組

高知・大月町の自然に包まれた環境で、ヤマニファームの鶏は、デジタル技術を活用したスマート畜産により、鶏の健康状態や環境データを細やかに管理しています。温度・湿度・給餌などを最適に保ちながら、一羽一羽がのびのびと過ごせる環境を整備。さらに、鶏ふんを堆肥化してレモン栽培に活かすなど、地域資源を循環させる仕組みを構築しています。自然の力と技術の力を融合し、安心でおいしい鶏肉を育てています。